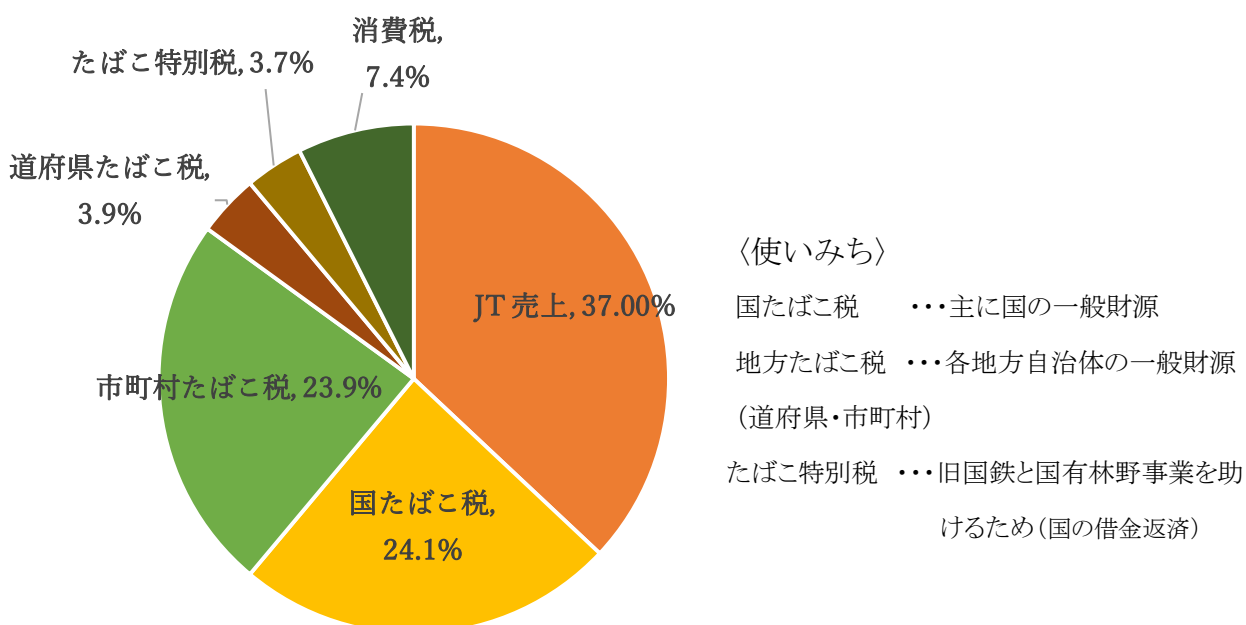


たばこ税について

2018年税制改正でたばこ税の増税や急速に普及が進む加熱式たばこ(アイコス等)に増税する検討をしているようです。消費税率を10%に引き上げるときに導入する軽減税率(飲食料品などの税率を8%に据え置く制度)により減る税収の財源確保の一つとしてたばこ税増税が有力視されています。今回はたばこ税について簡単に説明します。

〈たばこ代金の内訳〉



上記の図のようにたばこは金額の約6割が税金で最も税負担率の重い商品です。

なぜ増税されやすいのか

禁煙の流れが世界的なものであり、税金を上げる=禁煙を助けるという構図もあり増税の対象となりやすいのです。海外ではたばこ1箱が1,000円以上する国もあります。

(スイス・フランス 約1,100円 ノルウェー・オーストラリア 約1,700円~2,000円)

電子タバコ(ニコチンを含まないリキッド型タイプ)は、法律上「たばこ」ではないのでたばこ税はかかっていません。